



上海日本人学校の現状と展望

上海日本人学校 事務局長 武一彦

今回は、上海日本人学校(以下、本校)の現状と展望を紹介します。

本校は、虹橋(小学部)、浦東(小/中学部)及び高等部の3校で構成される文部科学省認定の教育機関であり、公立学校とは成り立ちが異なる在外教育施設と呼ばれるものです。具体的には、文部科学省、外務省の支援を一部受けていますが、上海日本商工クラブを設置者として私立学校に近い組織運営を行うものであり、理事会組織にあたる学校運営委員会と教職員、PTAの協働で、特色ある教育空間づくりを目指しています。

3年間の進化

さて、本誌2016年春号(No.46)では30周年の節目に「本校の進むべき方向」に触れましたが、その時に分析した本校の8つの課題に対する対応や変化を整理します。

①3校の連携強化

2017年4月に高等部を浦東校と同じ校地に移転し、中高連携が加速、中学部から高等部への内部進学が増加しています。

また、虹橋、浦東、高等部の3校長の方向性統一、3校教務主任の積極的交流、ICT教育環境の3校同時整備など一体感を増しています。

②学校の有るべき姿の明確化

本校は、昨今の日中関係の好転

に合わせ増加している民間文化交流にも呼応、在外教育施設ならではの現地理解教育の強化と機会増、外国語教育の重要性に目を向けたグローバル人材育成に注力した方向性を明確にしています。

③教育の質的向上

教育の質を上げるために、少人数で丁寧な教育指導を継続しています。日本の公立学校の学級編成は、法において1学級40人とされていた時代もありましたが、近年では、各地の教育委員会が40人を下回る人数を基準として定めることができます。

在外教育施設である本校は公立学校の縛りは受けず、本校の定める独自基準で学級編成を行っており、毎年の学力検査でも日本の平均を大きく上回る成績を上げています。

表 上海日本人学校の学級編成基準

学年	小1	小2 ~中2	中3	高1~3
1クラス 基準(人)	25	30	25	35

また、近年は外国語における習熟度別少人数指導などで教育の質を向上、本校の目指すグローバル人材育成に努めています。

④規則規程整備の必要性

本校では動きの激しい中国の法制度や現実的運用などに対応した規則規程の改定を随時行っています。また、厳しい内部統制及びコンプライアンスの下、学校経営の健全化を推進しています。

⑤テロ対策などのリスク対応

比較的安全な街とされる上海ですが、本校では児童生徒の安全のために外周監視カメラを増設、容易に校内侵入されないための安全設備を強化、また門衛の防衛スキルを地域の公安と共に高め、防犯訓練に不審者対策を織り込んで実施しています。

また本校独自の安全対策として、保護者の携帯電話へのショートメール緊急通報サービス(SMS)を導入、本来の非常事態発生時に不安なく使用できるよう、通学バス(以下、校車)に関する遅延等の情報発信、授業料徴収や学校行事の告知にテスト運用を行っています。

⑥通学安全の確保

本校では、他の日本人学校同様、通学は保護者責任が基本ですが、通学安全支援の一環として、門衛が盾や警棒を装備、学校周辺で不審者警戒、校車の出入りの交通整理や警備などを行うべく改善を図っています。

⑦児童生徒数変動への対応

本校は2012年度をピークに児童生徒数が減少していますが、2018年度からは若干の下げ止まり感が見え始めています。

日本人学校(全89校)2018年度在籍調査において、在籍2,260名と相変わらず大規模な本校ですが、2019年1月の予測では再び増加に転じる気配も感じます。

また、ほぼ同規模の2校区(虹橋、浦東)を市内にバランス良く配置、教室や体育館などの施設に加え、教職員配置を適正かつ効率的に行っていることで、無駄のない学校運営を行っています。

⑧高等部の活性化

2011年に設立され8年が経過した高等部は「協力大学(日本の有力私大12校)」をはじめとした多くの大学によるセミナーなどの教育支援や推薦入学枠に加え、教員の丁寧な教育指導、そして国際感覚豊かな生徒たちの活躍で周囲の評価も向上、内部進学だけでなく他校からの編入学も増加、生徒数は徐々に増えつつあります。

このように、この3年間でも本校は着実に進化しています。

本校への入学や在学について

今年も桜咲く入学の季節がやってきました。そこで、本校にお問い合わせを頂く編入学や学校生活に関する質問と回答の一部を参考までに記しておきます。

①外国籍の入学は可能ですか？

原則論から言えば、本校は日本国籍者のための学校です。

しかし日本で生まれ、また幼児期や学校生活を日本語環境で過ごしていることで、母国語があまりできない外国籍の児童生徒も在籍しています。

中国籍の場合、日本での出生証明を有し、教育に耐えられる日本語力が有る場合、上海市教育委員会の許可で本校入学が可能です。

その他の外国籍の場合は、日本語による教育を受けることができることを前提に、校長或いは学校運

営委員会の判断で入学許可を与えることが一般的です。

なお、入学資格には幾つかの条件(2018年夏号(No55)参照)が公開されていますが、判断が難しいケースもありますので、入学前にメールで各校にご相談ください。

②給食はありますか？

給食は提供していません。飲食物を提供する場合、大きな課題は、アレルギーを有する児童生徒への対処や、食中毒・毒物混入などの安全確保に関わる対応策であり、リスク管理の観点から現在のところ導入を予定していません。

また、本校児童生徒への飲食物の出前も前述の理由に加え、本校のリスク管理上の問題もありお断りしていますのでご注意ください。

③通学先を選べますか？

小学部の場合、原則として黄浦江の西側(浦西地区)は虹橋校、東側(浦東地区)は浦東校への通学としています。



浦東校と高等部

なお、中学部は教科担当の教員を確保しなければいけないこと、中高連携などを鑑み、浦東校に配置しています。

高等部は、前述の中高連携の関係もあり浦東に配しています。

④寄付金は要りますか？

寄付金は原則不要です。しかし学校の施設設備の整備や更新

に対するご負担として、1家庭1回限り、入学時に「施設金」(1万7750RMB)を納めて頂きます。

生計を一にする家庭に兄弟姉妹がいる場合、長子の入学時1回限りの納入とします。

また、日本に帰任後、再赴任した場合であっても、納入控(領収書)が有れば、再納入は不要です。

なお、授業料収入が主たる財源の本校において、ご寄付は貴重であり、文末をご参照の上、各校に相談頂ければ幸いです。

未来に向けて

1987年の創立以来、上海の邦人社会の重要な生活インフラとして評価されてきた本校は、世界最大級の日本人学校というだけでなく、高等部を有する世界唯一の日本人学校として、質及び量の両面で圧倒的な存在感を示しています。

しかし、本校はそれに甘んじることなく、この上海の地で学んだ経験を活かしグローバルに羽ばたく子供たちを輩出できる教育空間を目指します。

これからも、皆さまの益々のご理解、ご支援をお願いいたします。

本校へのご入学、編入のお問い合わせは、本校HP <http://www.srx2.net.cn/> をご覧の上、下記3校にメールでご連絡をお願い致します。

虹橋校(小学部)
TEL : 021-6406-8027
E-mail : info_hq@srx.net.cn

浦東校(小・中学部)
TEL : 021-5059-5333
E-mail : info@srx2.net.cn

高等部
TEL : 021-2023-6750
E-mail : hs@srx3.net

本校では、企業、個人を問わず、教育設備などの寄付を募集しています。現在、特に必要なものは、映像機器やタブレットなどICT関係のものですが、ご支援が可能な企業、個人の方がいらっしゃいましたら、上記アドレスまでご連絡いただければ幸いです。